

平成23年度 事務事業評価シート

課名		健康増進課		健康企画係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備	2	地域医療の充実	1	地域医療体制の充実			
事業名	産科医等確保支援事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費
	細目	1	保健衛生総務	細々目	1	保健衛生一般管理費(補助)	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務			( )		予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
全国各地の医師不足や病院勤務医の過重労働解消、産科医の医療リスクに対する支援、女性医師の離職防止等地域の医療環境の改善・整備を目的に、平成21年4月より制度実施。		市内に所在する分娩施設に対し、財政面から支援することにより産科医不足と病院勤務産科医の過重労働の解消を図る。		分娩手当を支給する病院に対し、分娩1件につき1万円を補助する。	
活動指標			成果指標		
分娩を取扱う病院からの申請数			適正な補助金交付		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
1件		1件		100%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
2,300,000円		2,300,000円			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及交付金	2,300,000	2,300,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 (1/3)	766,000	766,000
					県支出金 ( )		
					地方債 ( )		
					その他 ( )		
			一般財源 (2/3)		1,534,000	1,534,000	
合計		2,300,000	2,300,000	合計		2,300,000	2,300,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.25	1,570,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他 適正な補助金交付を行っているが、産科医確保に結びついているか検証が困難。			

平成23年度 事務事業評価シート

部署名		#REF!		健康企画係		No	12		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備	2	地域医療の充実	1	地域医療体制の整備			
事業名	二次救急医療対策事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費
	細目	1	保健衛生総務費	細々目	2	保健衛生一般管理費(単独)	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ( )			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
本市・宇部市・美祢市の広域を地域単位とした「宇部・山陽小野田・美祢広域救急医療対策協議会」を行政・医師会・救急告知医療機関で組織し、手術や救急などの入院医療や包括的な保健医療サービスを地域で完結することを目指す。		宇部・山陽小野田・美祢地域における救急医療体制を整備し、輪番制により二次救急医療を行う。		広域医療圏内に在る9つの救急医療機関において、365日体制で二次救急医療に対応する。必要な経費は3市がそれぞれの人口に応じた負担を行う。	
活動指標			成果指標		
協力医療機関数			協力医療機関の稼働日数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
11病院		9病院		100	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		%	
365日		365日			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助・交付金	7,481,000	7,480,658	財(源割内訳)	国庫支出金 ( )		
					県支出金 ( )		
					地方債 ( )		
					その他 ( )		
			一般財源 (100%)		7,481,000	7,480,658	
合計		7,481,000	7,480,658	合計		7,481,000	7,480,658
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,884,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	B 有効性が認められる	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
広域圏内での医療環境は整っているが、安易な救急車の出動要請や二次医療機関での受診など患者の受診モラルが低下している。		一次医療・二次医療・三次医療の役割の周知を図るとともに、安易な救急車の出動要請や二次医療の受診を控えるよう、患者の受診モラルの向上を図る。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		健康増進課		健康企画係		No	3		
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)					
3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備	2	地域医療の充実	1	地域医療体制の充実				
事業名 休日救急医療対策事業									
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費
	細目	1	保健衛生総務費	細々目	2	保健衛生一般管理費(単独)	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ( )			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
郡市医師会が当番を決めて休日の9:00から17:00までの一次救急医療を担う。小野田市医師会は外科及び内科、厚狭郡医師会は1医療機関で実施。		当番制で休日診療を行うことにより勤務医の負担軽減を図る。		市内の医療機関が輪番制で休日の診療を行い、それに係る委託料を医師会に支払う。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
協力医師会数			稼働日数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
2医師会		2医師会		69日		69日	
100 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	6,479,000	6,431,250	財(源割内合訳)	国庫支出金 ( )		
					県支出金 ( )		
					地方債 ( )		
					その他 ( )		
			一般財源 (100)		6,479,000	6,431,250	
合計		6,479,000	6,431,250	合計		6,479,000	6,431,250
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,256,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
医療環境は整っているが、患者の受診モラルが低下している。	一次医療・二次医療・三次医療の役割の周知を図るとともに、安易な救急車の出動要請や二次医療の受診を控えるよう、患者の受診モラルの向上を図る。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		健康増進課		健康企画係		No	4	
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備	2	地域医療の充実	1	地域医療体制の充実			
事業名 急患診療事業								
款		4	衛生費		項	1	保健衛生費	
目		7	急患診療事業		細々目	1	急患診療事業	
目		急患診療事業		会計種別		一般会計		
事務区分(根拠法令)		自治事務		( )		予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
平日夜間や休日において、患者が二次医療機関で安易に受診する事例が増加している。このため勤務医の過重労働による疲弊や重篤患者への対応の遅れが懸念されている。		小野田保健センターに併設した急患診療所において、平日夜間に内科、日曜・祝日に小児科の一次診療を行っている。症状により二次医療機関へ紹介。これにより二次医療機関勤務医の負担を軽減する。		医師・薬剤師・看護師・医療事務関係者と個別に委託契約を結び当番制で出務。必要に応じて出務者と市との意見交換の場を設け、業務の運営等について協議する。	
活動指標			成果指標		
診療日数			受診者数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
内科245日、小児科69日		内科245日、小児科69日		内65 小79 %	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
内科4人/日、小児科35人/日		内科2.6人/日、小児科27.6人/日			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)	
支出内訳	需用費	2,968,235	2,084,679	財源(割内合訳)	国庫支出金	( )		
	役務費	152,370	152,370		県支出金	( )		
	委託料	30,865,395	30,865,395		地方債	( )		
	備品購入費	200,000	199,500		その他	(80%)	28,350,000	26,770,363
					一般財源	(20%)	5,836,000	6,531,581
合計		34,186,000	33,301,944	合計		34,186,000	33,301,944	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)					
		0.8	5,024,000					

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題		改善策	
小児科の1日当たりの受診者数は30人前後で推移しており、勤務医の負担軽減を図るという目的は十分に果たされていると思う。しかし、内科においては2人以上3人未満であるため、目的を十分に果たすには受診者数が増加する必要がある。また、個人委託契約で運営しているため組織体としての経営が検討しづらい。		急患診療所のPRに努めると共に、1次医療・2次医療・3次医療の役割分担を周知させる中で、受診モラルの向上を図る。また、診療所の組織的運営に向けて検討する。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
B	事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		健康増進課		健康企画係		No	5		
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)					
3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備	2	地域医療の充実	1	地域医療体制の充実				
事業名 地域医療整備支援事業									
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費
	細目	1	保健衛生総務費	細々目	2	保健衛生一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ( )				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市内の医療機関における看護師不足を補うため厚狭准看護学院において准看護師を養成している。卒業後市内の医療機関での就業や上級学校への進学により地域医療の充実に貢献している。また、入院中に生活機能が低下する高齢者が増加傾向にある。生活機能が低下すると自宅での生活に支障をきたすことになる。		准看護学院において、2年間のカリキュラムにより准看護師を養成する。また、赤十字病院内に設置された老人保健施設において、生活機能の回復を図っている。		准看護学院運営費の補助、老人保健施設整備に係る費用の償還補助。	
活動指標			成果指標		
准看護学院の定員・卒業生			卒業生のうち市内に就職		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
定員 20名		卒業生 15名		80	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及交付金	20,864,000	20,863,125	財(源割内合訳)	国庫支出金 ( )		
					県支出金 ( )		
					地方債 ( )		
					その他 ( )		
			一般財源 (100)		20,864,000	20,863,125	
合計		20,864,000	20,863,125	合計		20,864,000	20,863,125
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,884,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
適正な補助金交付を行っているが、地域の医療・福祉の充実に結びついているか検証が困難	今後の支援や運営状況を鑑みの中で、事業を継続していく。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート		課名	健康増進課	健康企画係	No	6
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備	2	地域医療の充実	1	地域医療体制の充実
事業名	訪問看護ステーション事業					
予算費目	款	1	訪問看護事業費	項	1	訪問看護事業費
	細目	1	訪問看護事業費	細々目	1	訪問看護事業費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ( )			予算種別	継続	経常

## 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
高齢化社会の進展に伴い、病院での長期入院療養が困難となり在宅での療養希望者が増加している。これに対応するため平成9年にステーションを設置し訪問看護事業を開始した。また、平成12年度の介護保険制度に施行により要介護者の在宅生活支援を目的に在宅介護支援を開始した。近年民間の訪問看護事業者の台頭により訪問看護利用者は年々減少している。	在宅療養者の健康チェック、入浴介助や機能回復の指導などを行っている。また、家族に対して介護相談を行っている。要介護状態となった人が自立した日常生活が送れるよう、必要な保健医療福祉サービスの調整を行っている。	担当主治医の指示書に従い訪問による看護等を行う。利用者の状況は随時主治医に連絡する。要介護認定の人に居宅サービス計画を作成・実施し、定期的に見直しをしながら必要に応じたサービスを行っている。	
活動指標		成果指標	
稼働日数		訪問件数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
245日	245日	1,350件	1,350件
成果指標の到達度(B/A)			
100%			

## 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	1,042,000	242,194	財源(割内訳)	国庫支出金 ( )		
	役務費	523,000	335,549		県支出金 ( )		
	委託料	147,000	147,000		地方債 ( )		
	使用料及び賃借料	702,000	555,345		その他 (100)	2,639,000	1,307,088
	その他	225,000	27,000		一般財源 ( )		
合計	2,639,000	1,307,088	合計	2,639,000	1,307,088		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		3	8,863,400				

## 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	C 必要性について検討が必要である	C 有効性について検討が必要である	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

## 4 ACTION

課題	改善策
近年、民間の訪問看護事業者が増加しており、それらは24時間体制でサービスを提供している。民間の訪問看護事業者の成熟に伴い事業の必要性は低下しているため、事業廃止に向けた検討が必要。	事業の廃止
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
C 事業の抜本的な見直し又は休止・廃止の検討が必要	C 事業の抜本的な見直し又は休止・廃止の検討が必要
その他	一般会計より、人件費 0.45人役 2,826,000円